

変革

フクタニユエス

発行

(株)フクタ

砕石部

6月1日より砕石事業部の人事異動を実施いたします。従前まで工場長として木村が事業全体の管理運営を行っていましたが、今回砕石工場の工場長として新たに遠藤良雄を任命し現場部門の管理を担当することといたしました。

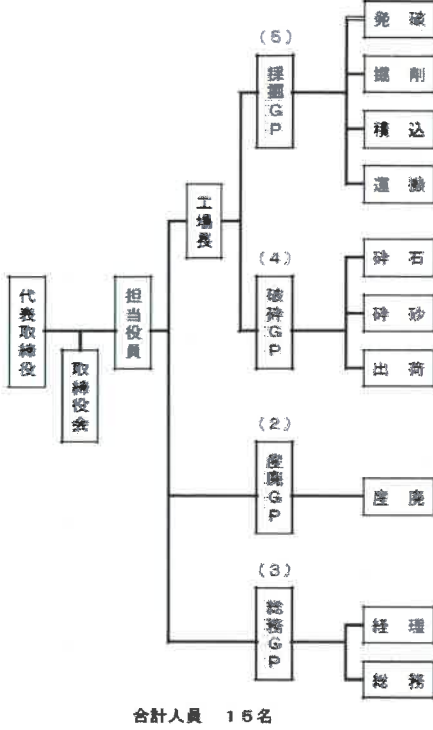
組織体制は左記の通りです。十五名全員力を合わせ丸となつて頑張りますので、これからもご指導、ご助言をいただければ幸いです。

新工場長 遠藤より挨拶



昭和六十二年十二月に入社、足掛け十九年になります。組織改正に伴い、工場長に就任しました。組織改正に伴い、責任の重さに足が地につきません。責任の重さに足が地につきません。責任の重さに足が地につきません。

(株)フクタ砕石部組織図



合計人員 15名

ボールミル 『リニユール』



運賃上昇に悲鳴

燃料の価格上昇が止まりません。毎月うんざりするほど上がっています。現状で吸収できる限界を超えています。現状で価格に見直せざるを得ない状況です。現状で価格に見直せざるを得ない状況です。現状で価格に見直せざるを得ない状況です。

運搬能力に暗雲

先日、また現場が重なり、備車をお借りした。また現場が重なり、備車をお借りした。また現場が重なり、備車をお借りした。また現場が重なり、備車をお借りした。

編集後記

運動会シーズンでしたね？ さて、この「運動会」なるものは、一体いつの頃から始まったのでしょうか。運動会という行事は、文明開化の時に西洋から持ち込まれたもののようです。日本で初めて行われた運動会は、明治7年海軍兵学寮で行われたものだと言われています。その後運動会は軍事的性格を持ったものになっていき、団体訓練をする場として運動会が利用されるようになったんだそうです。開催回数が増えるにしたがって、盛大で楽しいお祭りの濃いものへと、明治40年前後には、現代のものに近づき、地域全体のお祭へと変わったという事です。でも一番の子供達の楽しみはやっぱりいつの時代もお弁当なのかな...



花を植える



当社の砕石工場の事業区域は28haである。隅々を見ると色々な『汚れ』が目につくのだが、ゴビ砂漠にスポイトで水をたらすような感覚で思ったことをやる前にむなしさが先立ってしまい、ついつい蓋をしてきた。先日、プランターに花を植えた。植えてみるとまんざら焼石に水でもないものだと感じた。目に見える形が変わると心持が変わってくる。誰かが一滴でも水をやっている砂漠にもいつか緑が戻る。その最初の一滴のむなしさを希望に変えられればと思った。



衣替え

誰がいつから決めたのか、6月からは衣替えである。女子学生が白い制服で通学している光景はすがすがしいが、薄着になるとお腹のデッパリが気になる時期でもありますね。

